

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0177600319		
法人名	メディカル・ケア・サービス北海道株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム石狩花川		
所在地	石狩市花川404-12		
自己評価作成日	2023/2/22	評価結果市町村受理日	-5.3.27 第 号 收受

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL [https://www.kaiyokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_007\\_kanri=true&jigyozyoCd=0177600319-00&ServiceId=720&Type=search](https://www.kaiyokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_007_kanri=true&jigyozyoCd=0177600319-00&ServiceId=720&Type=search)

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	2023年3月24日 運営推進会議にて外部評価を行い、評価しております。
所在地	
訪問調査日	令和5年3月24日

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で目標の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない		

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 評価者 有限会社ケアサポートふる郷 北海道認知症介護指導者 松山 様

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の朝礼で唱和する事で理念の共有に努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らしきれられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状コロナ禍で地域の方とのつながりは回観板程度となっています。管理者が GH 連絡会の参加やキャラバンイベントの集いなどへ参加して地域の情報を得られるようにしている。	中々入居者様との外出は難しかったが、管理者が外部との関わりを持った。来年度は入居者様も外部との関わりを持てるようにしたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状コロナ禍の為、報告のみとなっている。今後コロナが収束してから以前のように運営推進会議を活かした取り組みをしていきたい。	来年度は以前のように、ホーム内外部の方を含めた運営推進会議としたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村の担当者とは日頃よりメールや電話で連絡を取れる関係性がとれており、困った事や分からぬ事は積極的にお聞きし、解決に繋がっています。	今後も継続していきます。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止にかかる指針の方向性のもと身体拘束の未実施の徹底が出来ています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束や不適切ケアについて研修等での周知や日々の指導により未実施の徹底がなされている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年4回身体拘束、高齢者虐待の研修をスタッフ全員に行う事と年4回スタッフ、ホーム長の「身体拘束、不適切ケア」のチェックシートをする事で虐待が見過ごされる事が無い様にしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	チェックシートにより適切に管理されている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回人権啓発研修を行う事で学ぶ機会を作り、それらを活用できるよう支援している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際は、契約の条文の読み合わせをし、時間をかけ契約内容の説明を行い、理解・納得をして上での契約を心掛けている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	苦情、相談窓口はしっかりと契約時にお伝えし、ホーム長からも3か月に1回程度は確実に電話をする機会を作り、要望を伺うように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関での面会時や電話にてご要望を聞く機会は作られている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3か月に1回は個人面談を行い、職員の意見や不安を聞く機会を作っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を設職員個々の努力が昇級に繋がる様定期的に昇給機会を作っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアアップ制度が職員のスキルアップやりがいの向上につながっている
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	EducationSystem を活用しMCS 統一研修を実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	MCS 統一研修の他システムの活用によりスタッフ一人ひとりのスキルアップにつながっている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長がいしかし医療と福祉のまちづくり広場通称「いしまち」の中で活動しており、サービスの質の向上を目指し意情報交換を行い、ZOOM での研修はスタッフも参加している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は入居者様の暮らしの場に入らせて頂いているという気持ちを持ちながら双方が良い関係を築けるよう支援している。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際には居室の物を新調するのではなくお家にある物を極力持つて来て頂く様お願いする事でなじみの生活が継続できるようにしている。	今後はホームの中でなじみの方々との交流が持てるようになるとよい。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様との普段のコミュニケーションの中で把握できるよう努めている。コミュニケーションが難しい方はご家族様の意向も確認しながら、ご本人にとって一番良い形を模索している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ全員でケアプランを作成する意識を持ち、カンファレンスまでに担当者以外の職員もモニタリング用紙の記載をしてもらっている。	今後も継続していきます。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアマネだけの意見で作られることがなく多数のスタッフで構築されたケアプランとなっている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニットに2台の iPhone があり、ノーティスという介護記録アプリにて個別記録と情報共有している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録アプリにより情報共有がしやすくなっている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の奥様が亡くなられた際、コロナ禍ではありました、葬儀に付き添う事が出来た。	入居者様本人やご家族様のご要望に極力応えられるよう柔軟に対応していきます。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いしまちや行政の方からの情報から地域資源を把握し、入居者様に必要な物は取り入れ地域資源を活用している。 また、ふまねっとの方との情報交換もさせて頂いたが、まだ実行には至っていない。	ふまねっとの方との交流を再開させていきたい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、ご家族様の希望をお聞きしあかりつけ医を決定している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の入院の際には職員も同席し、医師からの説明を聞くようしている。入院中のご家族様への病状説明も一緒に聞けるようお願いしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院関係者やご本人、ご家族が同じ情報を共有できるよう対応されている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	早い段階からご家族様の意向を把握し、重度化した場合は往診医からの説明をして頂きチームとして終末期医療を支えている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様のご意向通り看取りケアをされている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故・急変時マニュアルが整備されており、職員はその方の急変や事故の可能性をかんがえながらケアにあたっている。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の災害訓練を行い、終わった月のユニット会議にて情報共有に努めている。地域とは避難場所としてニューアカシヤ会館の使用できるよう協力体制を整えている。  今後も継続していきます。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、消防の方の訪問しての消防訓練が出来ていないが、今後は地域との協力体制を築いた訓練が出来る事を期待します。
<b>III. その人らしい暮らしを続けるため日々の支援</b>						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケアのチェック項目にも声掛け項目が数点あり、声掛けの言葉選びや対応にも注意している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切な言葉掛けはなく丁寧に対応されている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その都度声掛けをしながら、その方に合わせながら、食事の時間等を遅らせながら入居者様のペースに沿って支援している。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誕生日にはその方の食べたいメニューを提供するようにし、皮むきや盛り付け等入居者様の出来る手伝いを一緒にしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1Fで調理する事が多い為2Fの方が食事の盛り付け以外の手伝いの機会が少ない。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べる量や水分量は一人一人の栄養状態等をみながら設定し、水分量が少ない方にはゼリーを		

				提供し水分量増加に努めている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の状態をみながら口腔ケアを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアを拒否される方のケアも考えるとより良い。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレでの排泄が出来る方は、歩けなくてもトイレ誘導を行い、定期的にトイレでの排泄も努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできっていない D. ほとんどできていない	トイレでの排泄が出来る方はトイレで排泄できるよう努力されている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は基本的には順番でお声掛けしているが、希望や拒否がある際はその都度ご本人の希望に沿って対応している。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何となくの就寝時間はあるが、その方が眠くなる時間帯を把握しその時間に入眠を促すよう支援している。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	症状の変化に気を配り、変化があった際には主治医に確認、報告しその症状にあった薬になるよう支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬に変更があった際、スタッフ全員が共有できるよう対応されている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の生活歴や能力に合わせ、レクリエーションの企画をし、気分転換、楽しみを支援している。単調なレクリエーションになっているので変化が必要である。	ホーム内のレクリエーションを強化していくと共に外出や外食のレクを再開させていくたい。	
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状コロナ禍で出来ていないが、スタッフと入居者様1対1での外出を企画し、入居者様の行きたいところに行けるようにしていた。	外出や外食のレクを再開させて、一人ひとりの希望に応えられるようにしていきたい。	

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望がある際は、居室でお金の管理をして頂いている。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば、その都度電話や手紙を書けるよう支援している。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掲示物は季節感があるものを掲示し、全入居者様が落ち着いた生活が出来る様、5感を意識しながら支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掲示物が季節に合った掲示をされていた。

#### IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向を常に確認し、意向に沿った暮らしが出来る様支援している。		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限りご家族様から、情報収集を行い、その方の普通の暮らしが継続出来る様努めている。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプラン作成の為、3か月に1回アセスメントと日々のモニタリングの中でその都度変化に対応している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方に合ったケアプランが作成されている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今のご本人が望むペースで生活が出来る様支援している。		

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際すべての物を新調するのではなく、極力家にある物を持って来て頂くようお願いしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人お一人身近なものが居室やりビングに置かれている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的にあまり出来てないが、一度奥様の葬儀にお連れしました。	来年度は地域の行事参加や外出や外食のレクを再開させていきたい。	
46		本人は、自分ができること・できないこと、わからること・わからぬことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントの中で特に、「出来る事・出来ない事」「わかる事・分からぬ事」を注視している。		
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様同士で会話が出来る機会やスタッフと一緒に活動する場面を日々提供できるよう努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクリエーションが単調になっているとの事なので今後に期待したい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状コロナ禍で出来ていない。コロナ前は同町内の GH と交流したり、町内の敬老会に参加したりしていた。	来年度は地域の行事参加や外出や外食のレクを再開させていきたい。	
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフは心を込めた親切なサービスに努めその姿勢を磨き続け、快適で穏やかな生活を送れる様常に支援します。	今後もここで生活出来て幸せだと入居者様本人とそのご家族様が思って頂けるようなケアを継続させていきたい。	とても静かで落ち着いた雰囲気でケアされている。